

図書館の コツ！

読みたい本を探すため、知っていると便利な図書館のコツをご紹介します

図書館の本はどう並んでいるの？

図書館では、本の背表紙に貼られたラベルにしたがって並べています。

これは同じテーマ(内容)の本を同じ棚に集めて、探しやすくするためです。

愛知県図書館では、本の背表紙に貼られているラベルの一番上の段に、数字で本の内容をあらわす分類番号※2を表示しています→



※2 図書館のことは：2「分類番号」と「日本十進分類法」

日本のほとんどの図書館では、「日本十進分類法」(NDC)を使って本を分類しています。この分類法は、資料の内容を0～9の数字を使って10の大きなテーマにわけ、その中をさらに10に分類、またその中を10に分け…というように区分して、それを数字で表す分類方法です。大テーマ → 中テーマ → 小テーマ と、どんどん細かく分けていきます。

●大きなテーマ (分類番号の一番最初[左端]の数字)

0	総記	1	哲学	2	歴史・地理	3	社会	4	自然
5	技術	6	産業	7	芸術・スポーツ	8	言語	9	文学

*館内にも中テーマまでの簡単な表が掲示してあります。参考にしてください。

(例) 日本の現代小説

大テーマ：文学 → 9[00]

中テーマ：日本文学 → 91[0]

小テーマ：小説、物語 → 913

詳細(時代等)：近代[明治以後]～現代 → 913.6

9 1 3 . 6

3桁で区切り
点を入れます

*「きゅーいちさん
てんろく」と
よんでください。

愛知県図書館のラベルは… (例は「夏目漱石」の小説『吾輩は猫である』のラベルです)

1 段目…分類番号 本の内容を示しています

2 段目…著者記号 著者名のカナの頭から2文字を表示しています

3 段目…(整理の際に機械的に付けられる数字です)

913.6

ナツ

513398

【並ぶときは】

(1)

(2)

(1)分類番号順 【例】910 → 910.2 → 911 → 913 → 913.6/アオ → 913.6/イシ

同じ分類の本が複数あるときは → (2)その中で著者記号順 というように並べます